

児童発達支援自己評価表

事業所職員向け

2024年2月

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8		・部屋が狭いため、地域の公園に行くなど工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	8		・基準は満たしている
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7		・1日の流れを絵カードやマークなどで提示し、朝の会で分かりやすく説明している。 ・見通しが持ちやすくなるような工夫をしている。 ・どこで、何をするか明確にしている。 ・玄関などバリアフリーではない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8		・毎日振り返りのミーティングを行い、改善したり新たに取り入れる活動を考えている。 ・伝えられなかった職員には、後日口頭で共通理解が図れるよう工夫している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	6	・第三者による評価は行っていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		・外部講師を招き全員で研修ができる機会を設けている。 ・研修の案内について周知し、職員の申し出により実施している。動画配信での研修にも積極的に参加できるよう勤務の調整を行っている。また、関係機関への研修実習も行った。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8		・アセスメントを適切に行い、発達や行動の背景について考える機会を設け、職員全体で把握した上で計画を作成するようにしている。 ・保護者への聞き取りを丁寧に行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2	・適宜発達検査を(外部)行っている ・アセスメントシートを使い、職員で話し合うようにしていく準備が整ったので、今後は活用していく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8		・グループごとに活動を考えて行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8		・制作で発達に応じたプログラムにしたり、素材の工夫をしている。 ・興味や発達に応じ、内容を変えながら行っている。・季節を感じる制作を取り入れている。(月ごと)
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8		・職員間で発達や興味関心などについて話し合い、共通理解した上でひとりひとりに合わせて作成している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8		・月案に基づき、グループごとに打ち合わせ後、全体で連携をとるようにしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8		・ミーティングで「ちょっと気になる…事」など細かく話し改善策を考えるようにしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8		・毎日児童発達支援記録を残しており、こども一人一人の様子を記入しまとめている。 ・ヒヤリハットで事例を検討している。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8		・ケース会議を定期的に行っている。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8		・年に数回会議に出席している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8		・相談支援事業所やニューボラ推進課、保健師などと連携をとっている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1	7	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	7	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		・併行通園先の園と定期的に連携をとっている。また、変わった様子があればすぐに連携するようにしている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		・就学前には、児童の様子を見に来られたり、支援内容について、要録を提出している。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8		・センター主催の研修に参加させていただいたり、施設実習をおこなった。 ・発達検査を受け助言をいただいている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	7	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	7	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		・連絡ノートを通じて、子どもの様子について伝え合っている。 ・必要に応じて電話をしたり面談を行い保護者と子どもの様子について話す機会を設けている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7	1	・ペアレントトレーニングは行っていないが、保護者からの相談や連絡に対して、その都度迅速に対応している。児童の様子を見に来ていただいたり、面談を行うようにしている。 ・困り感などの対応については、職員間でも共通にし話し合っ保護者へも伝えている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		・サポートファイルやおしゃべり会などを実施し、話ができる環境を整備している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8		・今年度から、保護者の方が企画する行事を実施した。その際、職員は保護者同士が連携を取れるようお手伝いした。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		・すぐに対応できるようにしている。また、保護者が集まる参観などの機会に「いつでも相談してほしい」とことや「いつでも見学可能」な事を伝えた。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		・毎月おたよりを作成している。(グループだより なないろだより、給食、保健だより)
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		・個別に対応している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	6	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	・安全管理としてマニュアルを策定している。保護者へは、緊急時対応マニュアル策定に際して児童の引き渡しカード記入にご協力いただきました。職員や児童は、年間計画に沿って研修や訓練を行っています。保護者の方が安心してお預けできるよう周知していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	・避難訓練を実施しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	・口頭で状況確認するだけでなく、書面でも回覧して情報共有するようにしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8	・運営規程の説明の際、身体拘束について伝え、書面でも提示している。